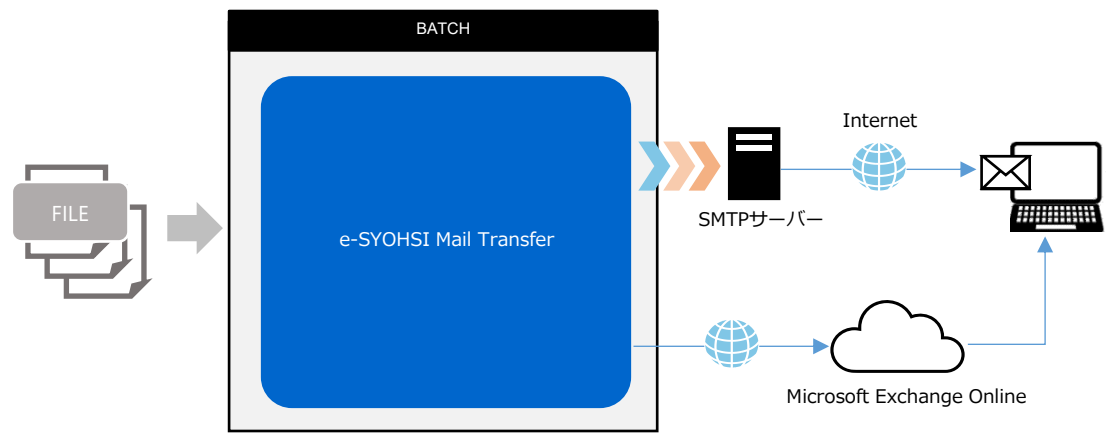


e-SYOHSI Mail Transfer V2.1 概要

Windows実行可能プログラム（.exe）形式のメール送信ソフトウェアです。
業務システム等からプログラム実行することで機械的にメール送信することができます。
e-SYOHSIシリーズでの主な用途は、メールタイトルや本文を自動生成して案内メールを送信する。成果物（CSVデータ、テキストデータ、PDFデータ等）を添付し自動配付する。異常発生時にシステム管理者へのメール通知を行うなど、要件に応じた様々な活用ができます。



特徴

■ タイトル、本文の生成

実行プログラムの引数でテキスト指定する方法に加えて、テキスト形式の外部ファイルを適用することも可能です。一連の処理の中で動的に外部ファイルを作成することで、用途に合わせたメール文を送信することができます。

■ 変数値の適用

タイトルおよび本文に変数を指定することができますのでテキスト文の一部を可変にすることができます。変数値は実行プログラムの引数で指定しますので実行時に値を引き渡すことができます。

■ ファイルの添付

ファイル名の連結指定やワイルドカードを用いた指定により、複数ファイルの添付送信ができます。

■ 通信方式

[SMTP]

- ・暗号化方式：暗号化なし、STARTTLS（TLS1.2）
- ・認証方式：認証なし、AUTH-LOGIN

[OAuth 2.0]

- ・Microsoft Exchange Onlineのみ対応

■ 宛先テーブル

メールアドレスを記述したリストファイル（CSV形式）を用意することで、宛先キーの引数指定のみで送信先を決定することができます。

宛先テーブル例

"KEY", "MAILSUBJECT", "TO"
"S110", "〇〇〇のご案内", "user1@aaaaa.co.jp"
"S140", "書類送付の件", "〇〇〇@kobelcosys.co.jp"
"Q777", "XXXXXXのお知らせ", "ex1@xxxxxx.co.jp"

実行引数に宛先キー値を指定
- KEY "S140"



〇〇〇@kobelcosys.co.jp へメール送信

掲載する情報は予告なく変更される場合があります。

© 2024-2026 KOBELCO SYSTEMS CORPORATION